

ボールの特性レポート BALL REPORT



ボール名 サブライム・フォーカス	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.470	ΔRG 0.056	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：サブライム・フォーカス

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

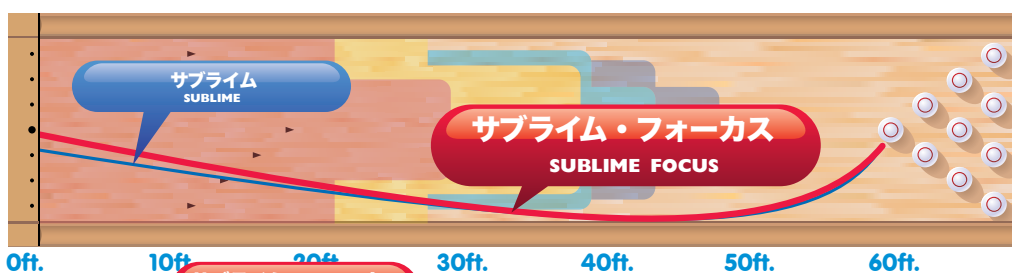
表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

比較対照ボール：サブライム

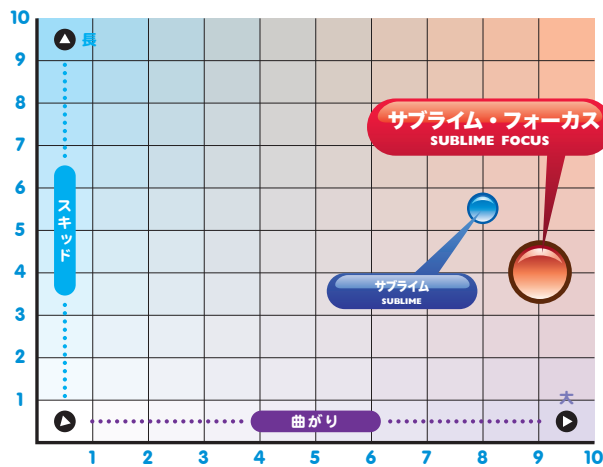
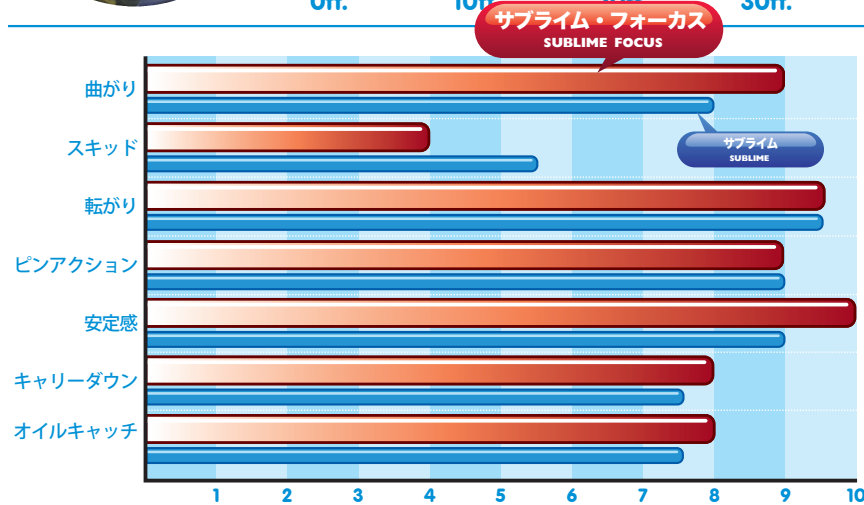
フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レンジス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

ボールの評価

ボウリング業界でA.Iコアというテクノロジーがボールモーションとピンキャリアーに多大な影響をもたらすと認識されたことによりさらに研究が進められていますが、近い将来「A.Iコア」というフレーズは特別ではなく、このテクノロジーが標準化され様々なコアに転用されていく時代がくるでしょう。

初代SUBLIMEは900Globalの中で初めてA.I化されたコアを搭載して発売されたボールで、RGを下げ、ΔRGを上げることでより転がりやすくより大きく曲がるポテンシャルをコア自体に持たせました。そのコアをベースにReserve Blend 802 Hybridカバーを用いて走りとバックエンドの動きを強調させ、幅広いコンディションで使用できるよう開発されました。

今回発売されるSUBLIME FOCUSは、前作が素材の50%がナノベースの802カバーだったところ、100%ナノベースの804カバーに変更され、非常に強力なカバーとなっています。SUBLIME は7系統、9系統とのちょうど中間のポテンシャル領域となる8系統のカバーストックで、その8系統のカバーでSolid素材を採用することで、オイルに対しての安定感とブレーキングの強さ、軌道の読み易さを狙ったスペックとなっており、より濃いオイルに対応できるように仕上がっています。ボックスフィニッシュは#2000アブラロン仕上げですが、8系統のカバー領域を超えたキャッチ力とブレーキングからの曲がりを感じます。

明らかにポリッシュされたSUBLIMEと比べると手前のオイルに対する安定感は増しているのが実感でき、ボール2・3個曲がり早く感じますので、よりヘビーなコンディションでの使用を考えている方にとってベストなボールに感じていただけるでしょう。

特記事項

900Globalの対称コアの中で最も強力なボールとなつての発売です。軌道の読みやすさと安定したブレーキングで扱い易さの中にしっかりとした曲がりが見られるでしょう。